



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2019年11月10日(日) 9:30~12:00(快晴)

参加者 一般:3名(うち子ども0名)、

指導員:2名

テーマ 「紅葉・黄葉を楽しもう！」

今年は台風の影響が桜などは葉が残っていないものも多く、また、冷え込むのが遅かったので、カエデなどの色づきのが遅れ、色の鮮やかさも今一つといった感じです。駐車場のハナミズキやアメリカハナノキは既に色づいていましたが、在来のハナノキはまだほとんどの葉が緑色でした。

色見本(「新配色カード」=カラーコード表)を使って、葉の色を何と呼ぶか調べてみました。ハナミズキは海老茶(マルーソ)、アメリカハナノキは緋色が近いかなということでした。

この日は堤防道路が高校生の駅伝大会のコースに当たっていたので、混雑を避けてちょうど見頃となっているコスモス畑で花と虫を見ながら回りました。ミツバチやハナアブの仲間がいましたが、チョウはこの時期にコスモス畑でよく見られるヒメアカタテハなどはいなくてモンシロチョウだけでした。

道路脇はキダチコンギクの白い花が見頃でした。一時期、いろいろな場所で見られた外来種ですが、近年はやや減少気味で、これだけの数が見られる場所は珍しくなりました。

高水敷は草がきれいに刈られ、芝生が剥がされているところもありました。草刈のおかげで、キツネの巣穴と掘り出した砂の山を見ることができました。治水のため埋められ続けても4年間ほぼ同じ場所に造られているところを見ると、余程居心地がいいのでしょうか。

巣穴を見た後堤防道路に出ると、上空を西に向かって飛んでいくミサゴを見ることができました。この時期、猛禽類ではノスを時々目にしますが、ミサゴが出現することは多くなく、見られて幸運でした。

大野極楽寺公園ではサンシュユの実を味わい、シロダモの雌花と雄花を見て、モクバラの池近くまで戻ってきた時、秋になって出現するオオアオイトトンボが数頭見られました。

池の周りの林ではシメの群に出会いました。近くにはツグミもいて、いよいよ冬鳥の季節になったなと実感しました。(齋竹)

<その他観察できたもの>

花: セイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポ、アレチハナガサ、ヒメクマツツラ、イヌガラシ、ホトケノザ、イチゴノキ(栽培種)

鳥: キジバト、ヒヨドリ、モズ、ハクセキレイ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、スズメ、ムクドリ、カワウ、カルガモ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ウグイス(声)、ホオジロ(声)、ジョウビタキ(声)

昆虫: モンキチョウ、キタキチョウ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ウラギンシジミ、ツマグロヒョウモン、クルマバッタモドキ、セイヨウミツバチ、マユタテアカネ、ミナミアオカメムシ



(草刈で出現したキツネの巣穴を観察)



色見本で紅葉の色を調べる



アメリカハナノキの紅葉



多く見られるキダチコンギク



秋に現れるオオアオイトトンボ